

FileZilla Server (簡易 FTP サーバ) 使用ガイド (参考用)

JE000267 2012 年 4 月 25 日 東洋電機製造株式会社

μ TURTLE-Monitor を使用するにあたり、東洋ワイヤレス計測システムからの測定データを収集するために FTP サーバを必要とします。実運用を行う際はデータの信頼性が確保可能な FTP サーバの使用を推奨しますが、簡易的に FTP サーバ機能を用意し運用する場合も存在します。

本ガイドでは、Windows PC を使用した簡易的な FTP サーバ機能を実現する方法について説明します。

簡易的な FTP サーバソフトとして、Windows 用に下記の (オンライン) ソフトウェアが存在します。

- FileZilla Server (<http://filezilla-project.org/download.php?type=server>)
- Tiny FTP Daemon (http://hp.vector.co.jp/authors/VA002682/tftpd_frame.htm)
- War FTP Daemon (<http://www.warftpd.org/>)

このうち、本ガイドでは、FileZilla Server を使用します。

なお、本ガイドは理解を助けるための参考として使用し、正式な説明は FileZilla Server のヘルプ、もしくは Web Page を参照して下さい。

1. FileZilla Server のインストール

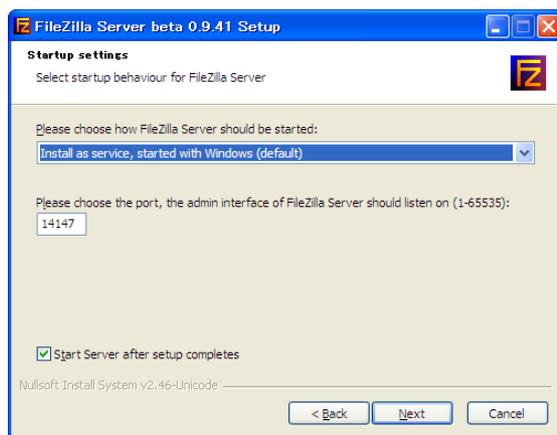
FileZilla Server の Web Page より、最新版のインストーラ (英語版) をダウンロードして下さい。
2012 年 4 月 1 日現在、最新版は Ver 0.9.41 です (FileZilla_Server-0_9_41.exe)。

また、FileZilla Server には、日本語化パッチが存在します。

日本語化パッチの配布元 Web Page (<http://www.aconus.com/~oyaji/ftp/download.htm>) より、FileZilla Server のインストーラと同じバージョンの日本語化パッチをダウンロードして下さい。

ダウンロードしたインストーラ (英語版) の実行ファイルをダブルクリックして実行すると、インストーラが起動します。 **Standard** のセットアップ方法にてインストールを進め、完了させて下さい。

インストール中、ポート番号の入力を求められますが、デフォルトの “14147” のままとして下さい。また、ポート番号の入力画面を含め、いくつか選択を求められる画面がありますが、すべて (default) と書かれたデフォルトの状態を選択して先に進んでください。

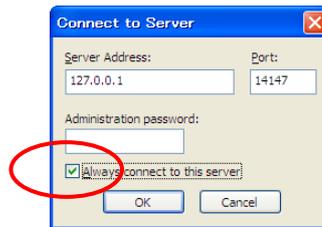


インストール終了後、“Connect to Server” という画面を表示します。

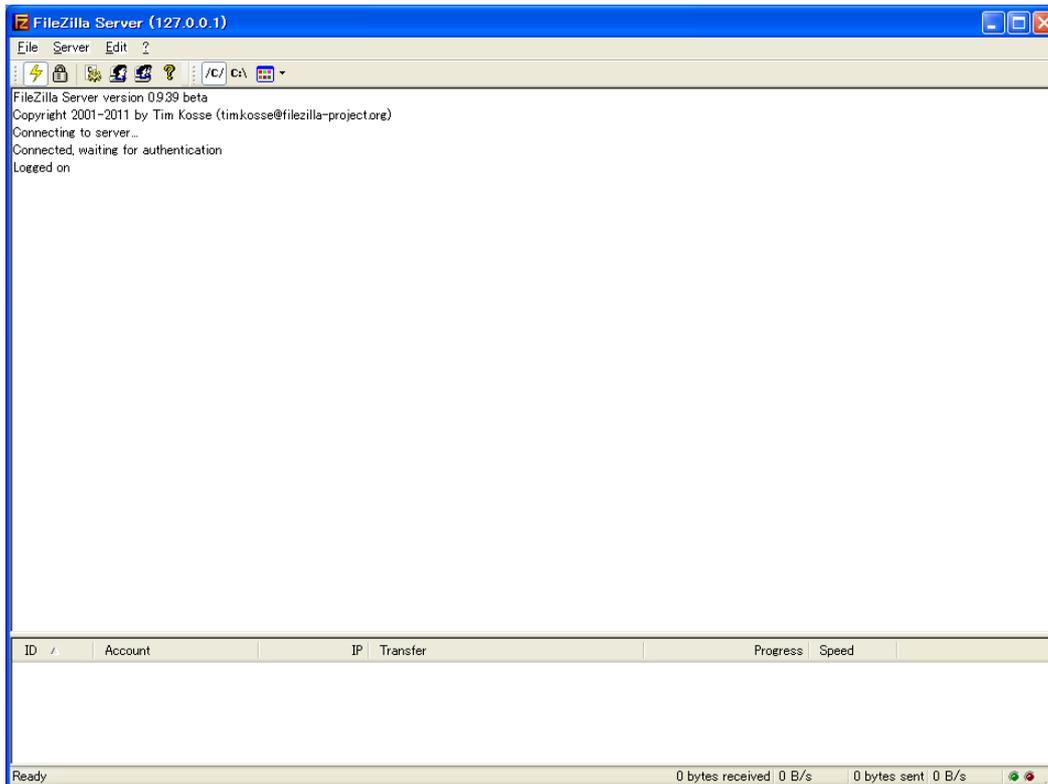
この画面では、**S**erver Address, **P**ort は表示されている状態のままとし、Administration password は空白のままとしてください。また、Always connect to this server のチェックボックスにチェックを入れてください。以上を設定して、[OK] ボタンを押して下さい。

(Always connect to this server のチェックボックスにチェックを入れなかった場合、次回の FileZilla Server 起動時に再度 Connect to Server の画面を表示します。チェックボックスにチェックを入れることで、次回の起動時から Connected to

Server の画面を表示しなくなります。)



Connected to Server の画面で [OK] ボタンを押すと、サーバのインタフェース画面を表示します。



インストールが終了すると、[スタートメニュー] の [すべてのプログラム] に [FileZilla Server] が追加され、その下に [FileZilla Server Interface] をはじめとした4つが作成されます。

この状態では、FileZilla Server は英語版で動作します。日本語で動作させるためには、この状態から日本語化パッチを適用します。

インタフェース画面のメニューバーから **F**ile を選択し、その中の **Q**uit を選択して、FileZilla Server を一旦終了して下さい。次いで、ダウンロードした日本語化パッチの lzh 書庫を展開し、展開された exe ファイルを、FileZilla Server をインストールしたフォルダ (標準では C:\Program Files\FileZilla Server) へコピーしてください。FileZilla Server をインストールしたフォルダへ移動し、コピーした日本語化パッチの exe ファイルを実行することで、FileZilla Server が日本語で動作するようになります。

(FileZilla Server の日本語化が終了したら、日本語化パッチの exe ファイルは削除して構いません。)

2. FileZilla Server の起動

FileZilla Server は、PC を起動したときに、自動的に起動します。または、[スタートメニュー] の [FileZilla Server] から [FileZilla Server Interface] を選択して起動することもできます。3. 章の設定を行うことにより、FileZilla Server を起動後に特別な操作等を行うことなく、簡易 FTP サーバ機能が有効になります。

簡易 FTP サーバ機能は、インタフェース画面を表示していなくても有効に動作します（タスクトレイにアイコンを表示します）。インタフェース画面を表示しているときに右上の [X] ボタンを押した場合、インタフェース画面は閉じますが、簡易 FTP サーバ機能は終了しません。

3. FileZilla Server の設定

簡易 FTP サーバとして動作させるために、簡易 FTP サーバのユーザ名・パスワードと、簡易 FTP サーバのファイル格納場所となるフォルダの設定が、最低限必要です。

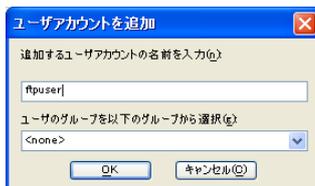
以下、簡易 FTP サーバのトップディレクトリとなる Windows PC 上のフォルダを“C:\¥FTProot”、東洋ワイヤレス計測システムからの CSV 形式測定データファイルをアップロードする簡易 FTP サーバ上のディレクトリを“/pub/dcp/dcp01/”、簡易 FTP サーバへアクセスするユーザ名を“ftpuser”、ユーザ ftpuser に対するパスワードを“ftppass”とするものとして説明します。

まず、簡易 FTP サーバのファイル格納場所となるフォルダを、Windows PC のディスクへ作成します。“C:\¥FTProot”、“C:\¥FTProot¥pub”、“C:\¥FTProot¥pub¥dcp”、“C:\¥FTProot¥pub¥dcp¥dcp01” のフォルダを、エクスプローラ等を用いてそれぞれ作成して下さい。

フォルダ作成後、FileZilla Server のインタフェース画面を開きます。その後、[編集(E)] → [ユーザ(U)] をメニューバーから選択し、ユーザ設定画面を開いて下さい。

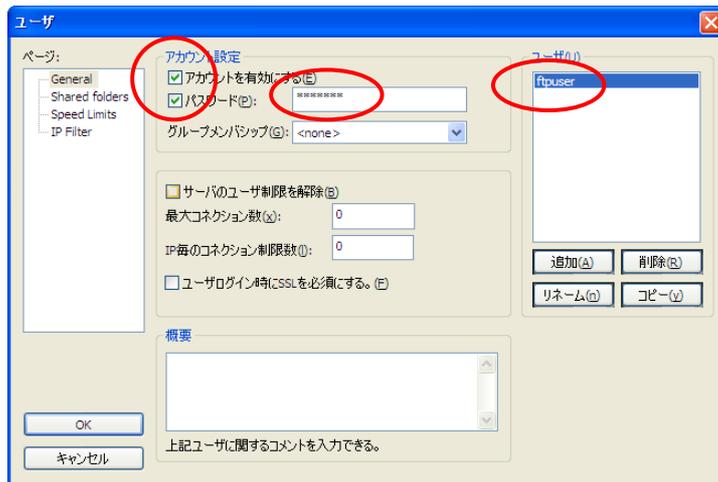


ユーザ(U) 欄の [追加(A)] ボタン押し、ユーザアカウントを追加画面より、追加する“ftpuser”を上段に入力して下さい。下段は変更なしで構いません。[OK] ボタンを押すと、ユーザ画面のユーザ(U) 欄に“ftpuser”が追加されます。



ユーザ欄で ftpuser を選択し、アカウント設定欄の“アカウントを有効にする(E)”、“パスワード(P)” 両方のチェックマークにチェックを入れて下さい。そして、パスワード(P) 欄右側の入力部へ、設定するパスワード“ftppass”を入力して下さい（画面には“*****”で表示されます）。

なお、この時点ではまだ [OK] ボタンを押さないで下さい。



次いで、ページ欄から“Shared folders”を選択して下さい。



共有フォルダ欄下の [追加(d)] ボタンを押します。フォルダの参照画面が出ますので、“C:\¥FTProot”を選択して下さい。[OK] ボタンを押すと、共有フォルダ欄に“C:\¥FTProot”が追加されます。

ファイル欄のチェックボックスが設定できるようになりますので、“読み(e)”、“書き(W)”の両方にチェックを入れた状態として下さい。



最低限必要な FileZilla Server の設定は、以上で終了です。ユーザ画面で [OK] ボタンを押すとインタフェース画面へ戻りますので、画面右上の [X] ボタンを押して画面を閉じて下さい。

4. Windows ファイアウォールの設定

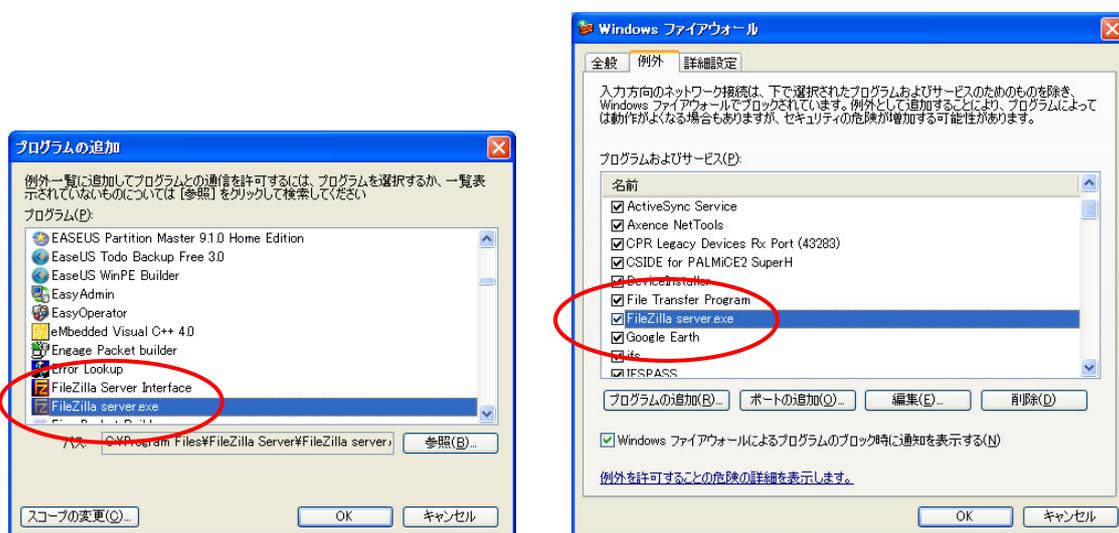
Windows のバージョンが XP 以降である場合、3. 章の設定を行っただけでは、他の PC 等から FTP で接続することができません。これは、WindowsXP 以降の標準機能である Windows ファイアウォールによって、外部からの接続が遮断されることによるものです。

このため、Windows ファイアウォールの設定を変更し、FileZilla Server への外部からの接続を許可する必要があります。

コントロールパネルから Windows ファイアウォールを起動し、Windows ファイアウォール設定画面の“例外”タブを開きます。画面下部の [プログラムの追加(R)] ボタンを押すと、プログラムの追加画面を表示しますので、右下の [参照(B)] ボタンを押します。

フォルダの参照画面が出ますので、FileZilla Server をインストールしたフォルダ (標準では C:\Program Files\FileZilla Server) へ移動し、“FileZilla server.exe”を選択して [開く(O)] ボタンを押して下さい。

プログラムの追加画面の プログラム(P) 欄に“FileZilla server.exe”が追加されたことを確認し、[OK] ボタンを押して下さい。Windows ファイアウォール設定画面の プログラムおよびサービス(P) 欄にも“FileZilla server.exe”が追加され、左のチェックボックスにチェックが入っていることを確認して下さい。



Windows ファイアウォールの設定は、以上で終了です。[OK] ボタンを押して、Windows ファイアウォールの設定画面を閉じて下さい。

5. 設定が正しく行われていることの確認

設定が正しく行われていることの確認は、データ送信ツールもしくは μ TURTLE-Monitor の「通信確認」機能により行うことが可能です。以下、データ送信ツールを用いて行う場合について説明します。

データ送信ツールを設定モードで起動し、以下をそれぞれ入力します。

- ホスト名/IP アドレス欄：簡易 FTP サーバを設定した Windows PC のホスト名または IP アドレス (データ送信ツールと簡易 FTP サーバを同一 PC で動作させる場合は、“localhost” または “127.0.0.1” としても可) (ただし、Windows Vista 以降で IPv6 を有効にしている場合、“localhost” では接続できない場合があります)
- ポート欄：“21”
- ユーザ名欄：“ftptuser”
- パスワード欄：“ftppass”
- FTP ディレクトリ欄：適当なフォルダ (FTP サーバとの通信設定確認のため、任意で構いません)
- ローカルディレクトリ欄：適当なフォルダ (FTP サーバとの通信設定確認のため、任意で構いません)
- 識別子欄：適当な文字列 (FTP サーバとの通信設定確認のため、任意で構いません)



入力後、[通信確認] ボタンを押すと、簡易 FTP サーバへ接続します。通信が正常終了し、「通信確認に成功しました」メッセージが表示されることで、FileZilla Server が正しく設定されていることを確認できます。

通信確認に失敗した場合は、FileZilla Server もしくはデータ送信ツールのいずれかの設定が誤っている可能性があります。設定値をあらためて確認し、再設定して下さい。



(通信確認に成功した場合)



(通信確認に失敗した場合)

その後、通信確認に成功した設定を記録するため、FTP ディレクトリ、ローカルディレクトリ、ファイル識別子の各欄を正しく設定し、[設定] ボタンを押して下さい。[設定] ボタンを押すことで、データ送信ツールへ設定内容を記録します。

なお、 μ TURTLE-Monitor にも対応する設定項目がありますので、適宜読み替えた上で通信確認と設定を行って下さい。

以 上